

第8回 市民まちづくり研究会 ～開催記録～

- 開催日 平成19年12月19日（水）
- 時 間 午後7時～午後9時
- 場 所 小牧市役所 大会議室
- 次 第
 1. 開 会
 2. 前回のおさらいと本日の予定
 3. グループ検討『提案書のとりまとめ』
 4. 閉 会

- 出席者 委員：32名
事務局：5名（企画課 大野、林、鍛冶屋、舟橋、古田）
コンサルタント：2名（ランドブレイン株式会社 伊藤、佐治）

- 資 料
 - ・市民まちづくり研究会 第8回資料
 - ・まちづくり提案書（第8回検討用）
 - ・グループ発表用スライド（各グループ分）
 - ・発表会次第（案）

1. 開 会

2. 前回のおさらいと本日の予定

- ・コンサルタントより「前回のおさらい」、「本日のグループ検討」、「提案発表会の開催（案）」について説明。
- ・提案発表会の進行、全体部分の発表者について、運営委員で役割分担することを決めた。

3. グループ検討『提案書のとりまとめ』

- ・提案書について、はじめて提案を聞く人にも分かる内容になっているか最終確認をした。（最終確認した結果は別冊「提案書」のとおり。）
- ・特に思いを伝えたい部分などを確認しながら発表内容を検討した。
- ・前回のグループ検討で出された実現化方策について各グループで検討し、全体で意見交換した。意見の詳細は、次ページのとおりに。

4. 閉会あいさつ（企画課長）

皆さまには、8回にわたる研究会で、小牧市の良いところや悪いところを共有しながら課題を出していただき、課題を解決するための提案をまとめていただきまして、ありがとうございます。今回検討いただきましたまちづくり提案を第6次総合計画に反映していきたいと思っています。

次回は提案発表会です。提案発表会は、市長はじめ幹部職員にも呼びかけ、広報（1/15号）でも周知します。発表時間は短いですが、これまで積み重ねていただいた提案やその熱い思い

を発表していただきたいと思っています。

第6次総合計画の策定に関して、現在、庁内では基本計画のたたき台を作成しています。そのなかでも研究会の提案を取り入れていきます。その後、策定委員会などを行い、来年度には審議会を立ちあげ、パブリックコメントでは市民の意見も聞く予定をしています。最終的には来年の12月議会へ上程するスケジュールとなっています。

最後になりましたが、今回まちづくり研究会にご参加いただきましてありがとうございます。今後とも小牧の市政にご支援・ご協力をお願いします。

《閉会后、運営委員会を開催し、提案発表会の役割分担を決めた》

- ・ 進行（大田垣さん）
- ・ 市民まちづくり研究会の概要と経過の報告（松田さん）
- ・ 提案書の提出（木戸さん）
- ・ 提案の実現に向けて（加藤さん）



■「提案の実現化に向けて」グループ及び全体での意見交換で出された意見

①、②について

- ・ ①と②は方向性が違うと思う。方向性が違うものを併記するのはおかしい。
- ・ ①は行政が設定する会であり、②は研究会独自の活動で、対象が違うように思う。
- ・ 企画課としては、来年度市民まちづくり研究会をどうする考えか。
⇒市民まちづくり研究会としては今年度で一区切りと考えている。
- ・ 環境基本計画の時にも参加したが、環境ではその後、参加した市民による自主的な取り組みがはじまった。今回の提案にも市民レベルでやらなければならないことがある。その取り組みと、行政と一緒に進めた取り組みを進めながら提案が実現できるといいと思う。
- ・ 今回の市民まちづくり研究会のメンバーが任意で集まることはいいと思うが、提案については、今回で一度区切りをつけたほうがいいと思う。提案書を出した後、メンバーが集まって研究会を開催し、何を検討するのか。
- ・ 市民レベルで小牧を良くするために取り組まなければならないこともある。4つのテーマごとに自主的にできることから取り組めばいいと思う。
- ・ 総合計画は市と市民の約束事である。市民と行政が協働・連携を持つことは大切だが、それとまちづくり研究会を続けることは別だと思う。市民まちづくり研究会のメンバーが任意で活動を続けるのはよいが、企画課が音頭をとって研究会を継続するのは違うと思う。
- ・ この研究会での提案を市で実現化してくれればラッキーだと思う。しかし、せっかくここまでやってきたことをこれっきりとするのはもったいないと思う。地域の意見も聞きながら実現化していくことが必要ということで①がでた。発表会後に考え方が変わる部分もあると思う。
- ・ 中心市街地の活性化については、パブリックコメントまで進んでいるところがある。この提案とどのように結びつけていくか、今後も集まって議論する必要があると思う。

③について

- ・ ③は「市民・市民団体」、「企業・事業所」、「行政・公共団体」三者の連携を強化としてはどうか。
- ・ このまま小牧山をほっておくと山の木は枯れてしまう。市民と行政が一体となってやっつけなければならぬ。そういう関係は続けていきたいと思う。

④について

- ・ ④の「進行管理する」はいらぬと思う。ここまで私たちが行うのは無理なので、進行管理まで書く必要はないと思う。
- ・ 「市民と行政」という書き方をしているため難しくなる。市民として管理することは難し

いが、行政として管理することは必要である。市民としての提案であれば、こうして欲しいという表現が適当だと思う。

- ・ 総合計画に盛り込まれるだけでは提案は実現しない。時代は刻々と変化するので毎年見直すなどを提案した。①から③とは、少し捉え方が違うが、提案の実現に向けて以下の7つを提案したい。
 - 1.まちづくりに対して、行政・市民・議会それぞれが、各自の責任を果たす
 - 2.必要に応じて、行政と市民の協働による研究会・委員会・協議会などの検討機関を設置する
 - 3.推進を目的とした関連条例を制定する。
 - 4.市民への浸透を目的とした宣言を行う
 - 5.達成基準を明確にした施策を立案する
 - 6.定期的に進行管理を行う
 - 7.状況の変化に合わせて、施策の改善・変更を行う

全体について

- ・ 今日の意見を踏まえて修正し、再確認すればいいと思う。
- ・ 当初から、8回の研究会を行い市長に提言する予定であった。その提案が総合計画に反映されるように提案書をわかりやすくすることが必要だと思う。私たちの提案が総合計画に盛り込まれれば、第一に総合計画をより多くの人に知ってもらいたい。
- ・ 実現化に向けて一番大切なことは、誰が見てもわかる提案書をつくること。
- ・ 提案書は、審議会や策定委員会での検討資料として活用されるので、そのことも考えて提案書をまとめていけばいいと思う。
- ・ 一番大切なのは、はじめて提案書を見る人にも提案したいことがよくわかるように、「目的」の部分をしっかり書くこと。「目的」を読めば提案の必要性がわかるようにすべき。せっかくつくる提案書なので、これがセシモノー的に終わらないようにしたい。



【確認事項】

- ・ 年内に提案書の修正点を事務局まで提出する。(はじめて見る人にもわかるように修正)
- ・ 年明けに企画課より最終確認用の「提案書」を郵送する。
- ・ 1月23日(水)午後7時より市役所にて発表会のリハーサルを行う。(発表者は出席、その他のメンバーもできれば出席)
- ・ 1月23日(水)に運営委員で提案書(「提案の実現化に向けて」など)の最終確認を行う。
- ・ 1月31日(木)午後6時より提案発表会、午後8時より反省会を行う。